

ボランティア活動を始めるあなたへ

気持ちの良いボランティア体験をするために次の事を心がけましょう。



- ①あいさつは基本です。施設の利用者の方や職員、他のボランティアへのあいさつ・自己紹介ができるとお互いの距離も縮まります。
- ②ボランティア同士でのおしゃべりはやめましょう。
- ③約束や決まりごとを守りましょう。また、遅刻・早退や参加できない場合は必ず受入施設などに事前に連絡しましょう。
- ④期間中は、受入施設などの方針・指示に従いましょう。
- ⑤期間中は、特に健康に気をつけましょう。万が一かぜ等にかかった場合は、受入施設などに連絡し、指示を待ち、感染防止のため無理に参加しないようにしましょう。

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策

- ・事前に検温をしていただき、体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛など）は参加を見合わせてください。
- ・マスクの着用をお願いします。

感染状況により、やむを得ず実施直前でも受け入れを中止する場合があります。

受け入れ中止の情報については、大分県ボランティアセンターHPに随時掲載しますので、ご確認ください。

申し込みまでの流れ

1. ガイドブックを見る

なるほど



令和3年度 夏のボランティア体験月間の冊子（この冊子）から自分が体験してみたい活動を調べましょう。

ボランティア体験をしたい施設等については、お住まいの市町の社会福祉協議会（しゃきょうといいます）が連絡調整いたしますので、直接訪問するか、電話で訪問日時を予約します。（できるだけ平日にご連絡ください）

冊子のデータは大分県ボランティア・市民活動センターホームページにも掲載しています。 (<https://www.oitavoc.jp/>)

2. 「社協」で申込み

未成年の方は保護者の承認が必要です。
印鑑もお忘れなく！



選んだ活動の担当市町村社協（支所等もあるので注意）に、この冊子の巻末にある参加申込書を記入して持参します。

ここでボランティアコーディネーター（担当者）が体験希望先に連絡のうえ、体験日時を調整します。

※ただし、今年度ボランティア活動保険に加入している人はFAXまたは郵送でも申し込みができます。その際は、加入していることを証明する書類（加入証など）の写しを添付してください。

ボランティア活動保険の詳細については、担当社協の担当者にご連絡ください。

3. オリエンテーションや事前説明を受ける



担当市町村社協から、体験施設決定の連絡がきたら、体験施設が記載された参加申込書のコピーを受け取り、ボランティア体験の心がまえについて参加者説明会を受けます。

（参加申込書に連絡先を記入する場合は、携帯電話の番号やメールアドレス、家にいる時間帯等記入していた方が、連絡がスムーズになります）

4. 体験施設と連絡をとる



体験施設には、体験日時や持って行くもの等を前日までに、電話で再確認してください。

また、体験日前にオリエンテーションがあるところもありますので、日時を調整のうえ訪問します。

5. 体験活動



持ち物等を確認し、いざ活動へ！

※当日、何らかの理由で参加できない場合は、体験施設と担当社協へ必ずご連絡ください。

※荒天時等は、体験施設に受入れするか必ず確認してください。